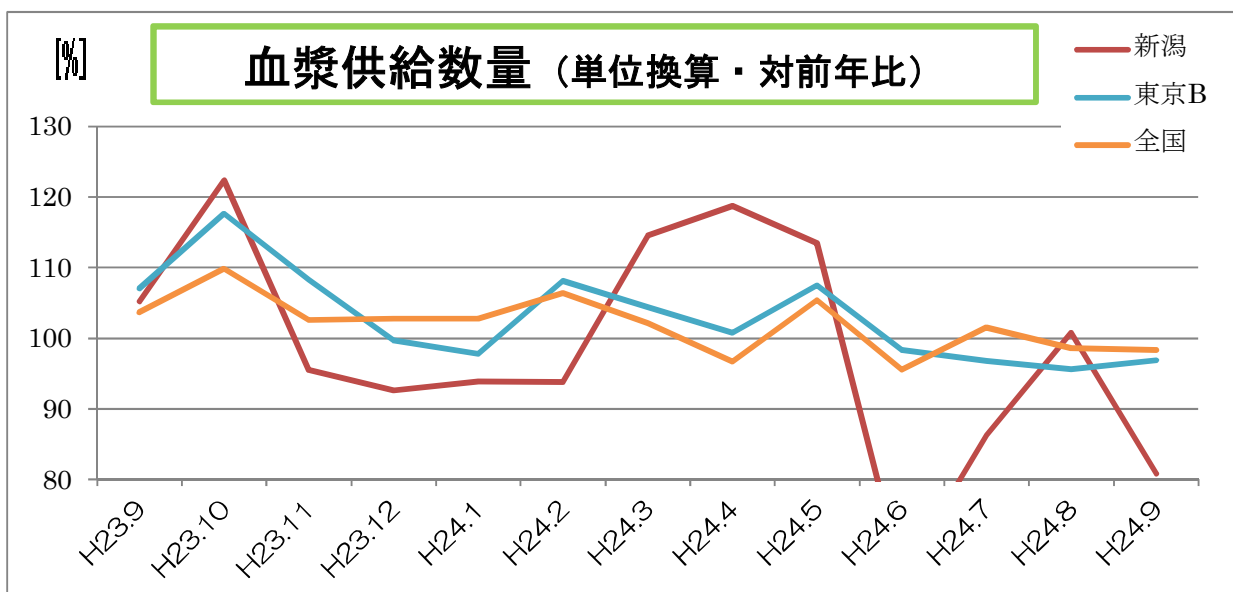
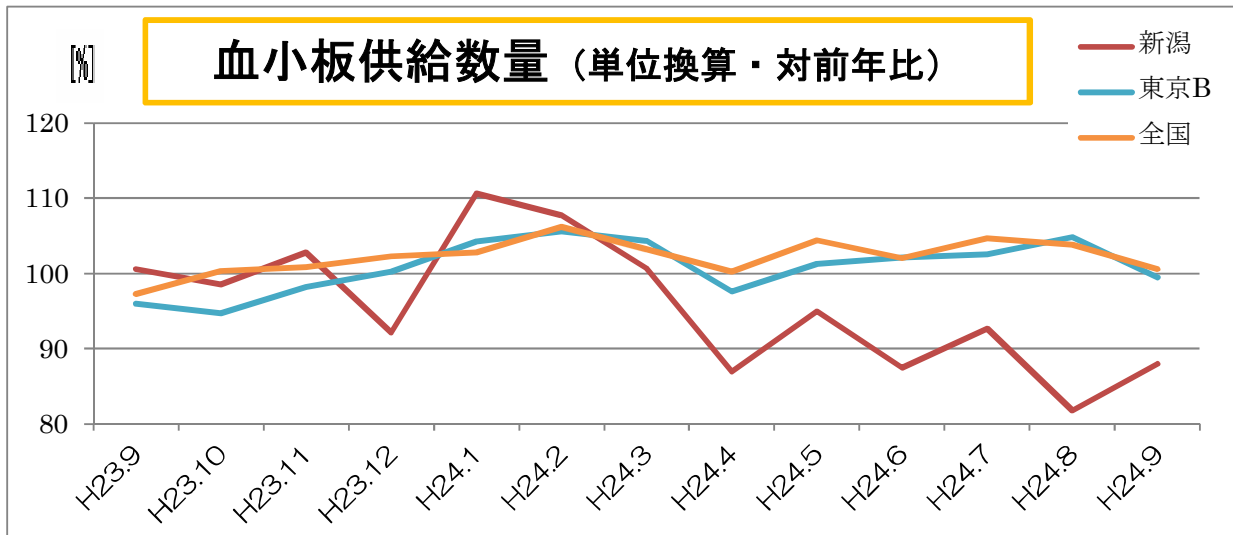
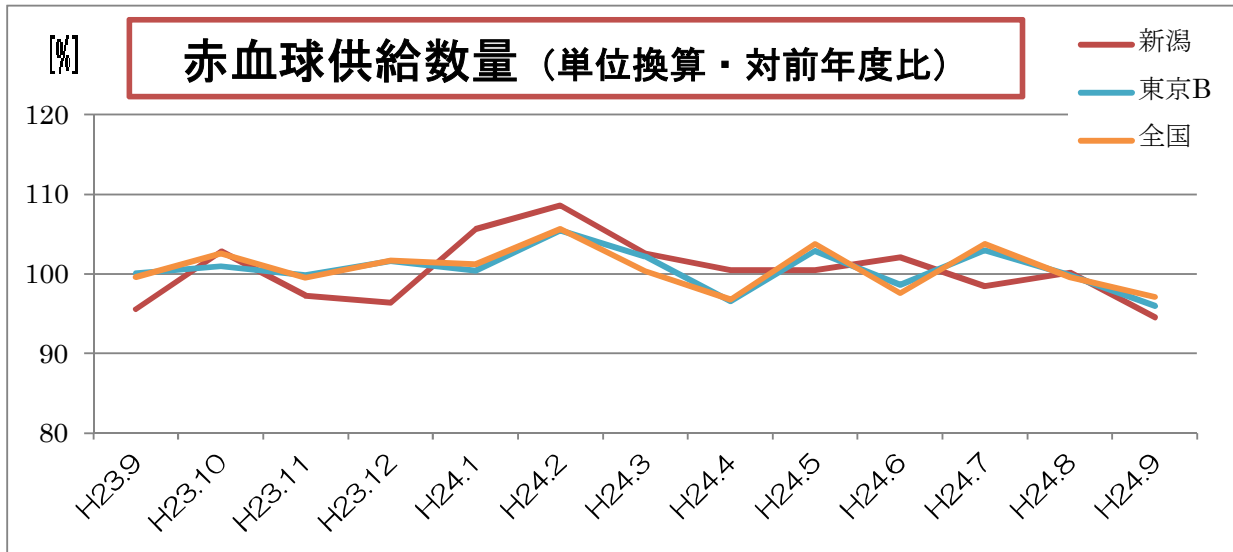
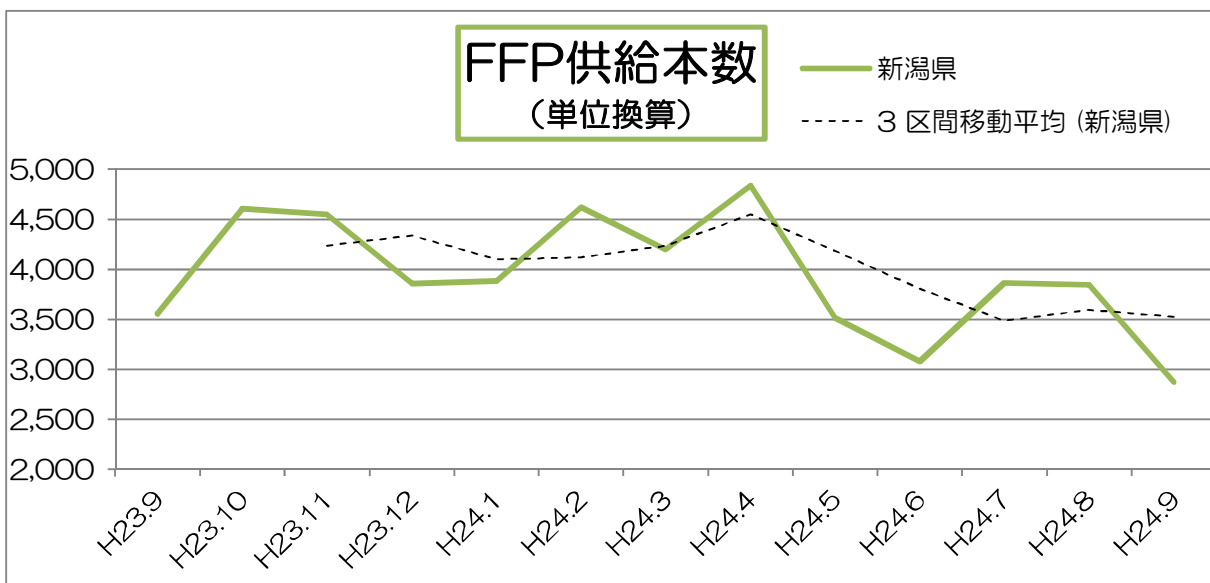
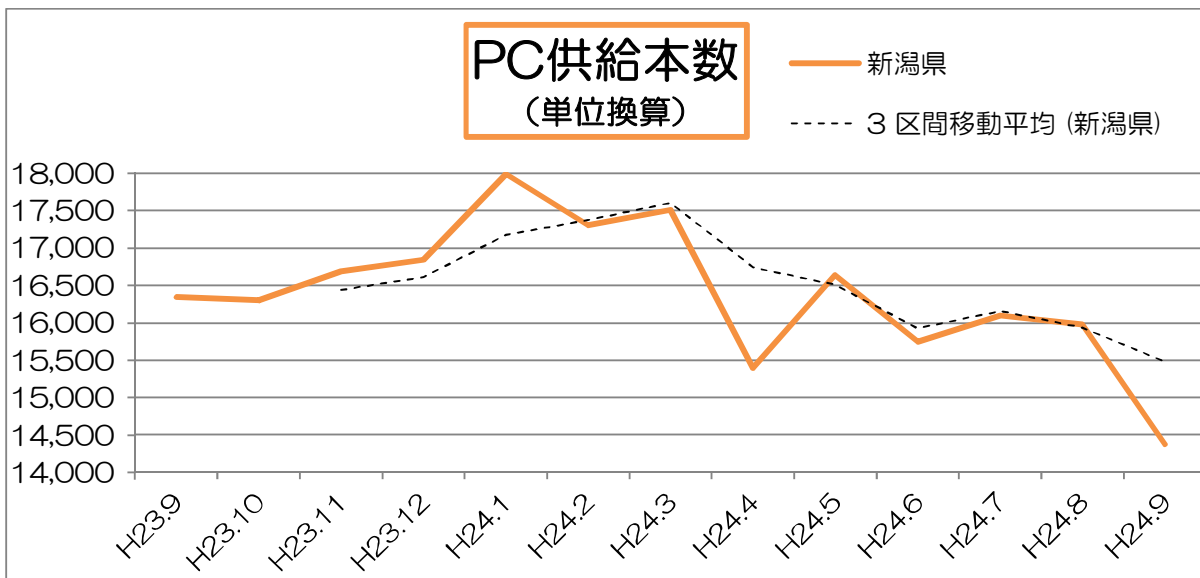
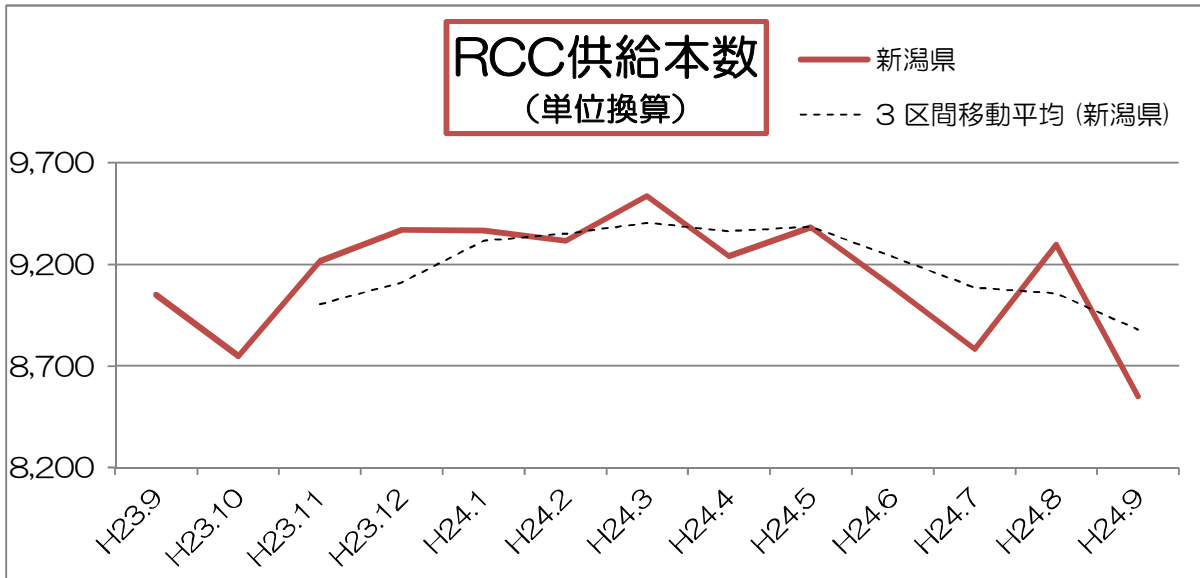


\* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

\* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。





## H24 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆9 月の特徴：アルブミンを除いた 3 製剤とも供給数が減少傾向。使用数では赤血球製剤が今年のピーク時の 91%、血小板製剤は 79%、血漿製剤は 66%になっている。原因の 1 つとして同種血の輸血実施患者数が減少している。A 施設は今年最少人数、全体も最少人数を更新した。

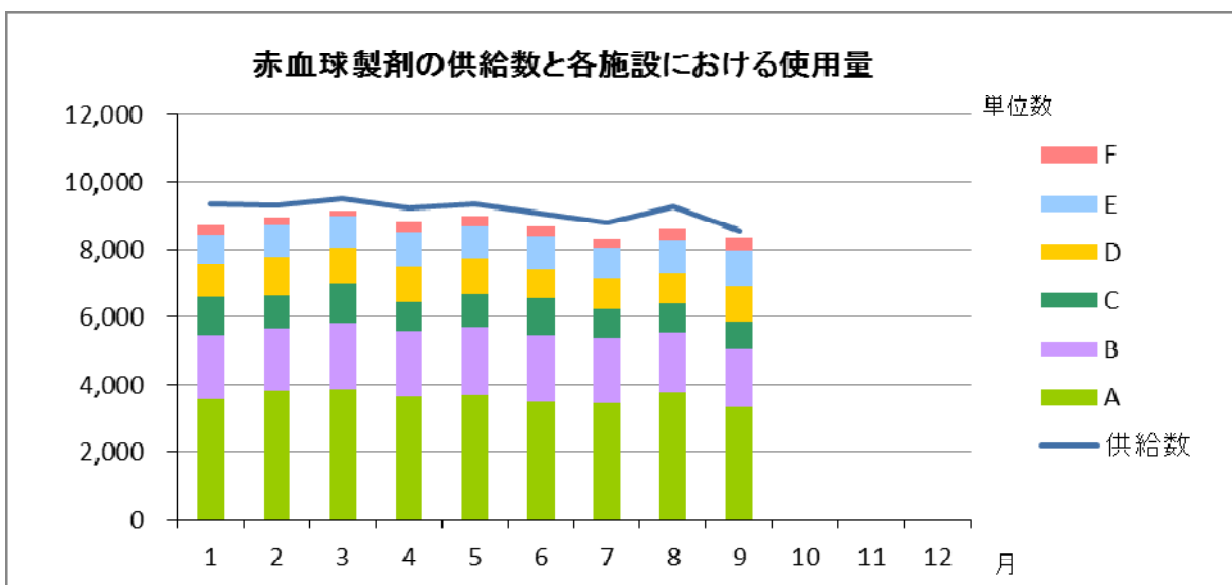
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,558
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,513
E	100～199床	23	3,595
F	0～99床	31	1,646
計		82	15,720

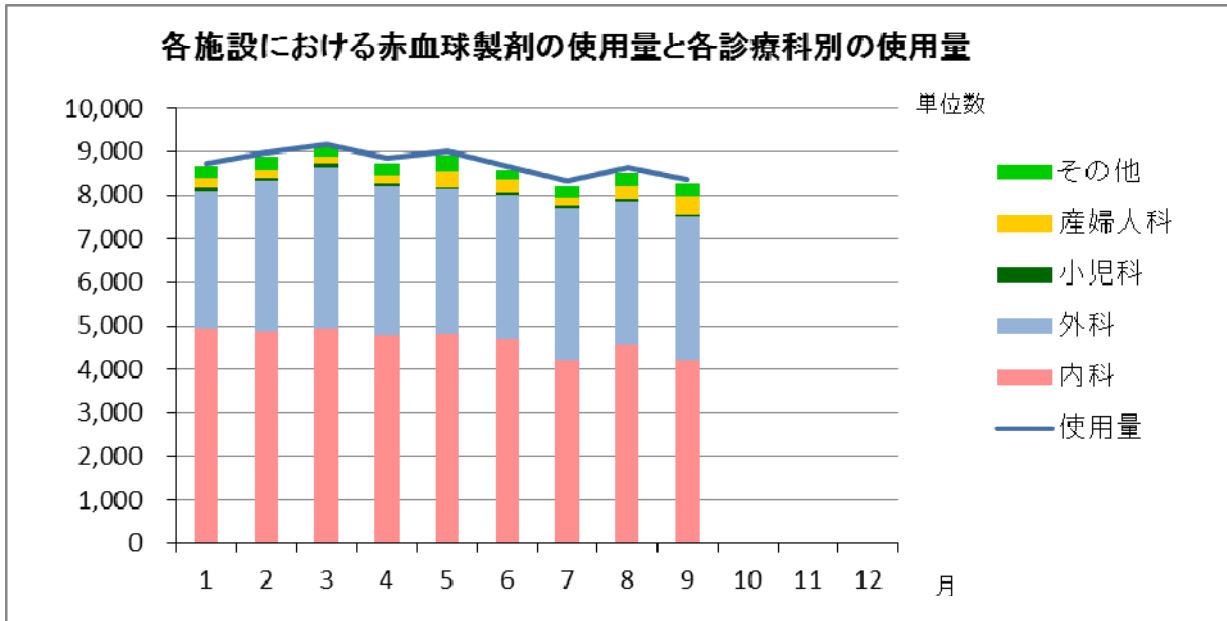
### ○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,336	1,637	1,168	69	280	182	3,336	100.0
B	1,756	952	744	0	48	12	1,756	100.0
C	761	408	295	0	52	6	761	100.0
D	1,058	401	598	1	8	50	1,058	100.0
E	1,078	539	388	0	20	27	974	90.4
F	357	260	95	0	0	2	357	100.0



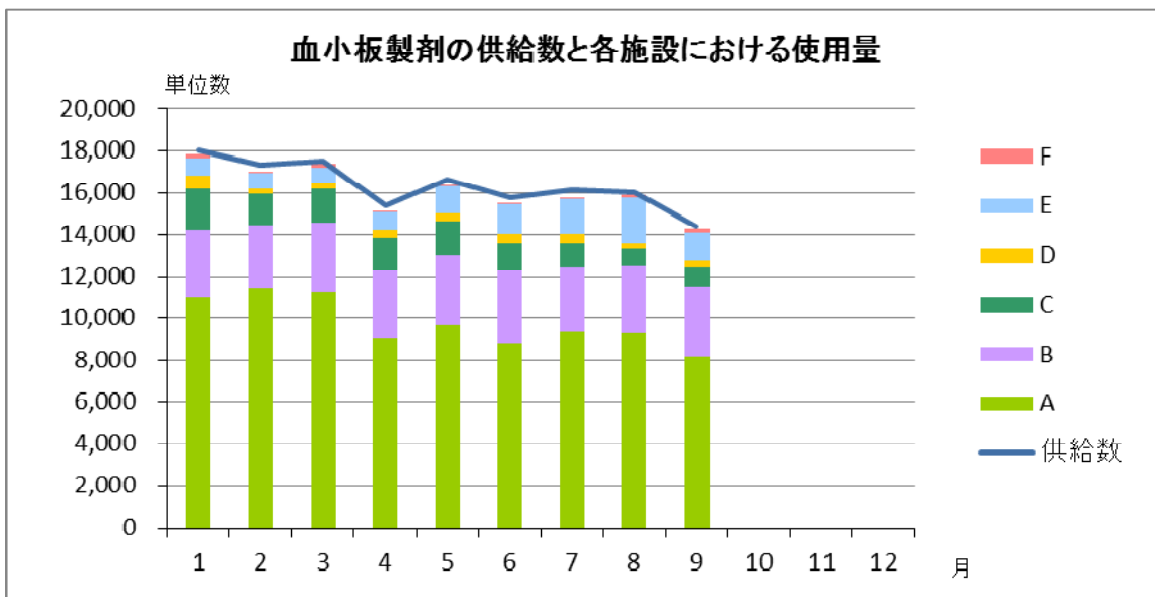


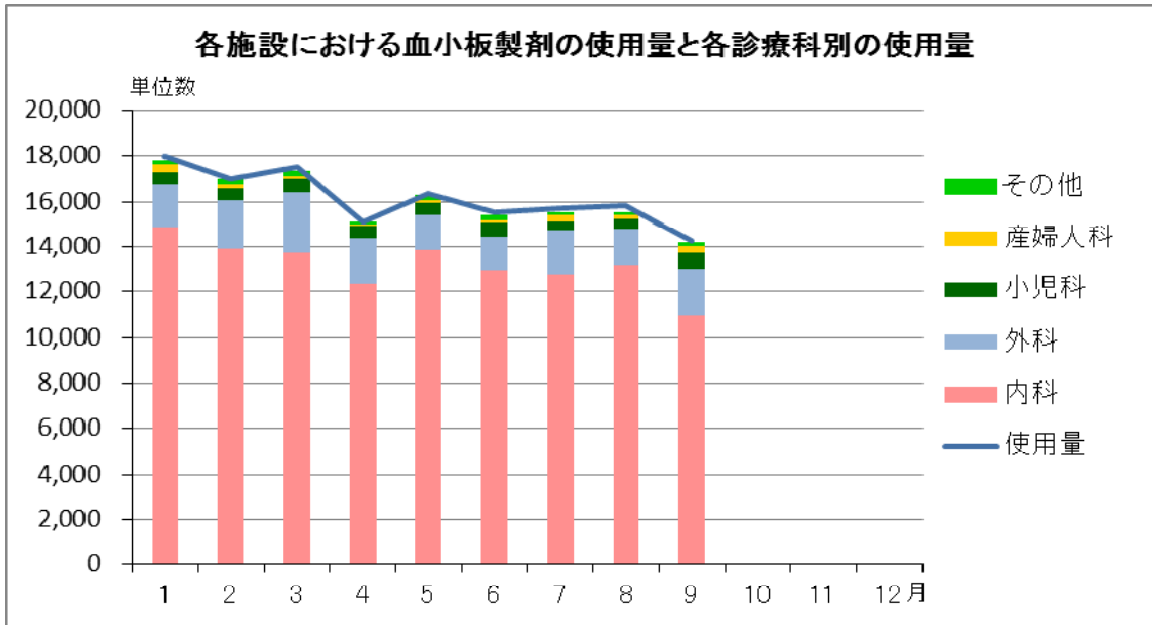
### ○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

\*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	8,190	6,295	765	720	240	170	8,190	100.0
B	3,340	2,405	910	0	25	0	3,340	100.0
C	945	765	180	0	0	0	945	100.0
D	295	140	135	0	20	0	295	100.0
E	1,325	1,210	55	0	0	0	1,265	95.5
F	175	175	0	0	0	0	175	100.0



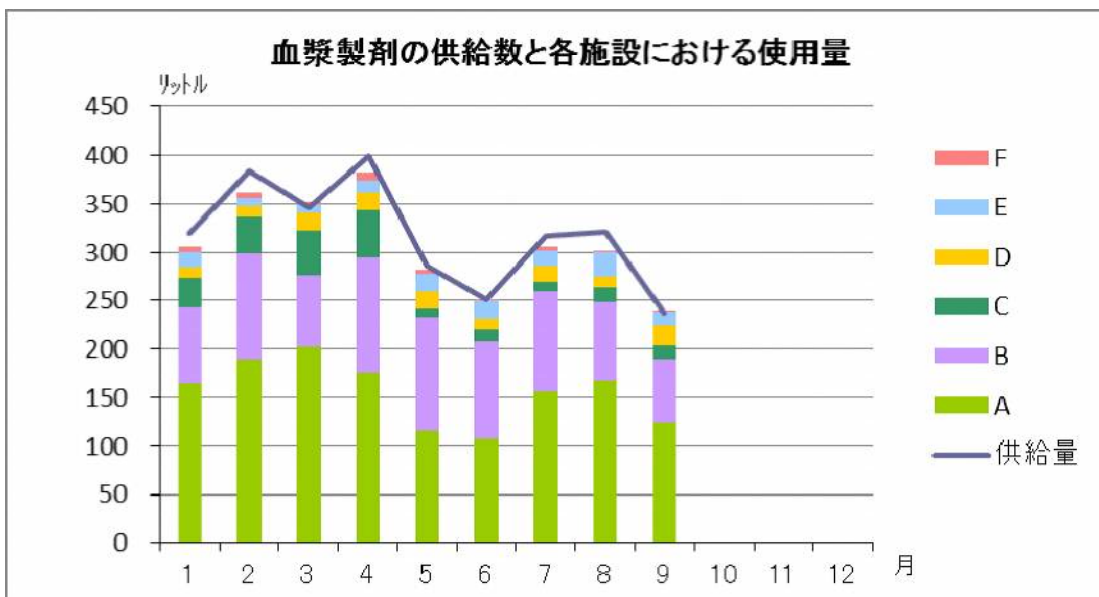


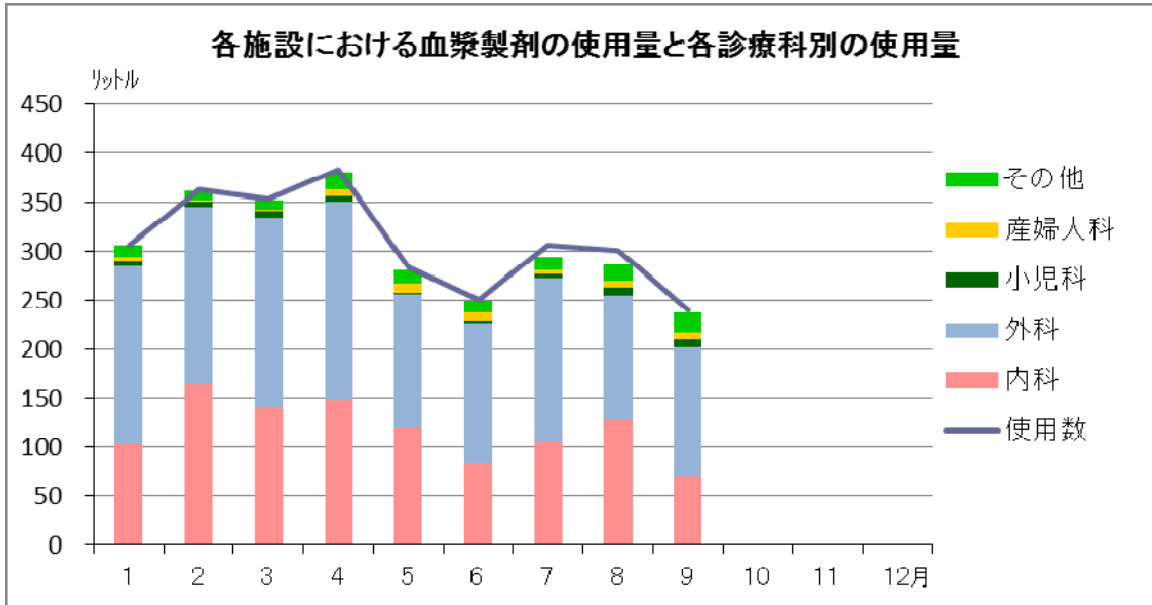
### ○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	124.4	46.4	55.1	7.7	3.8	11.4	124.4	100.0
B	66.0	14.6	50.7	0.0	0.7	0.0	66.0	100.0
C	13.6	4.6	7.6	0.0	1.4	0.0	13.6	100.0
D	20.6	0.1	10.2	0.0	0.7	9.6	20.6	100.0
E	13.6	3.8	7.6	0.0	0.0	0.0	11.4	83.5
F	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	100.0



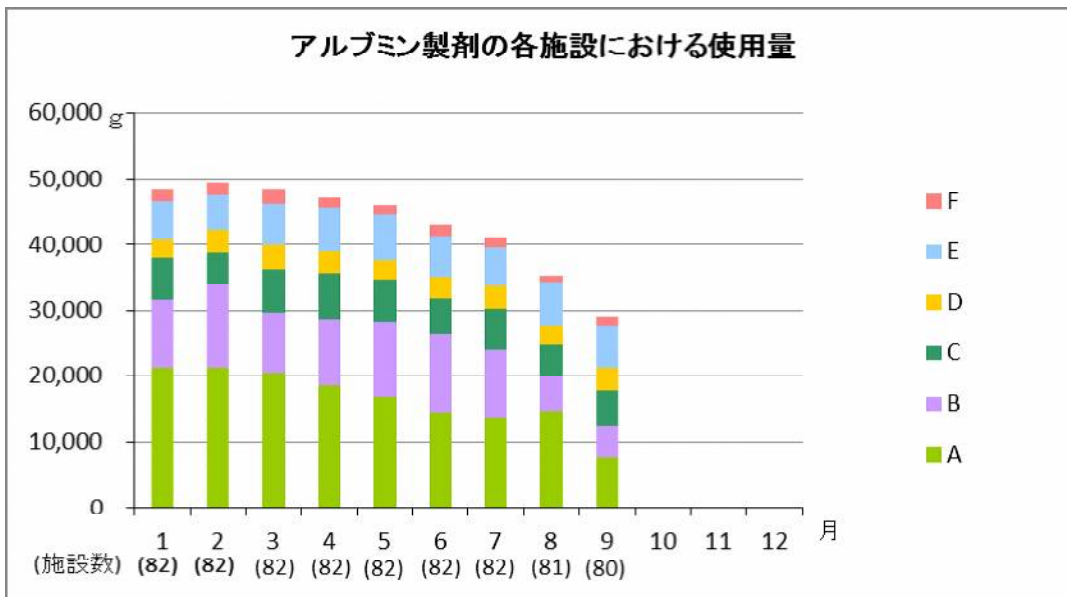


### ○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- \* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- \* 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- \* ( ) 内はアルブミン製剤を使用した施設数と、使用量の入力がされた施設数を表したのもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (5/6)	7,780.5	3,057.5	2,900.0	33.0	327.5	0.0	6,318.0	81.2
B (4/5)	4,562.5	2,475.0	2,087.5	0.0	0.0	0.0	4,562.5	100.0
C (7/7)	5,449.0	3,925.0	1,486.5	0.0	0.0	37.5	5,449.0	100.0
D (10/10)	3,431.2	1,188.0	826.5	0.0	0.0	0.0	2,014.5	58.7
E (18/18)	6,362.0	2,248.0	1,749.0	62.5	0.0	40.0	4,099.5	64.4
F (11/11)	1,562.5	1,182.5	180.0	0.0	0.0	0.0	1,362.5	87.2

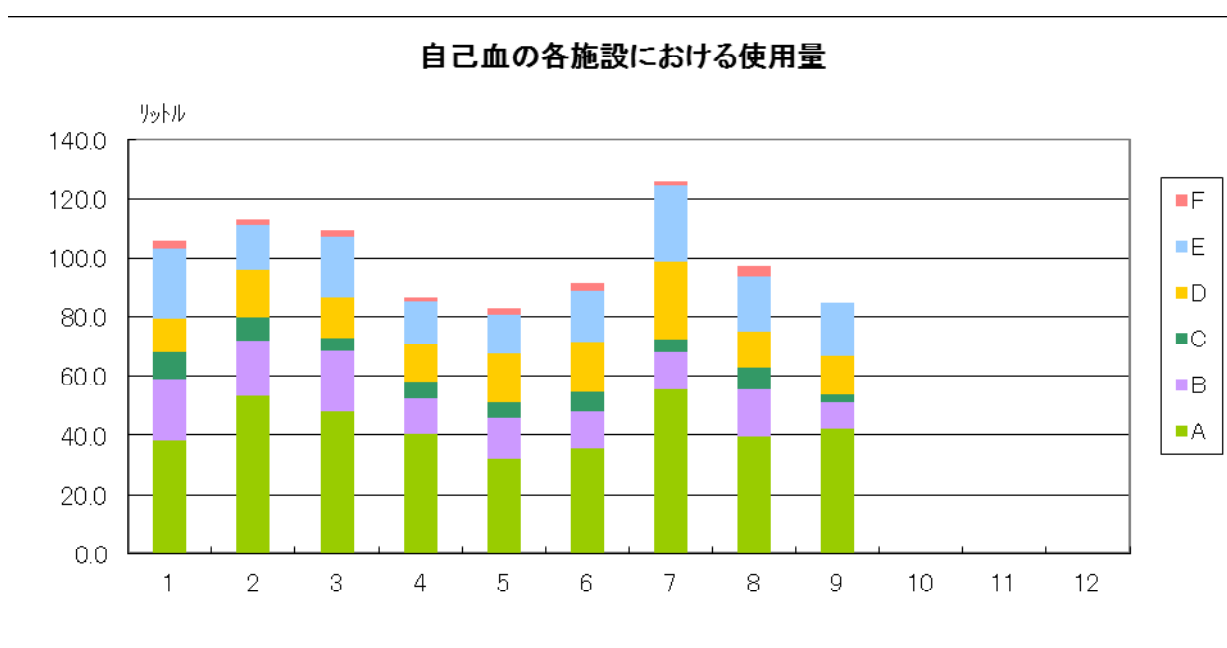


○自己血

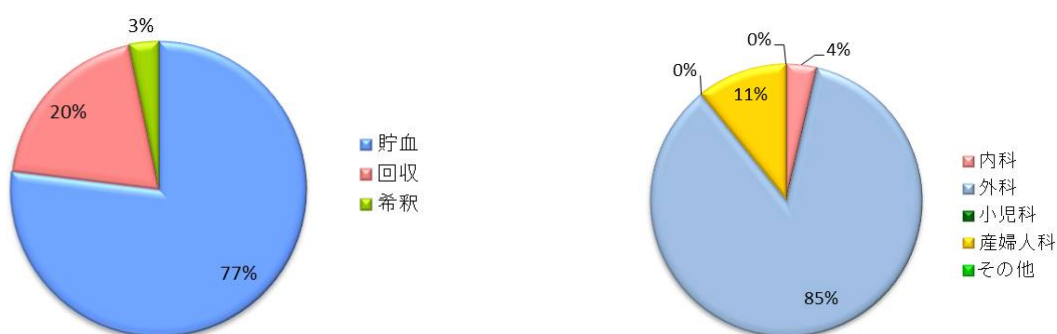
自己血の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別							全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計		
A	31.4	8.0	2.8	42.2	3.0	31.6	0.0	7.6	0.0	42.2	100.0	
B	5.8	3.1	0.0	8.9	0.0	7.5	0.0	1.4	0.0	8.9	100.0	
C	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	100.0	
D	7.2	5.6	0.0	12.8	0.0	12.8	0.0	0.0	0.0	12.8	100.0	
E	18.2	0.0	0.0	18.2	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	15.8	86.8	
F	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
計	65.3	16.8	2.8	84.9	3.0	70.6	0.0	8.9	0.0	82.5	97.2	



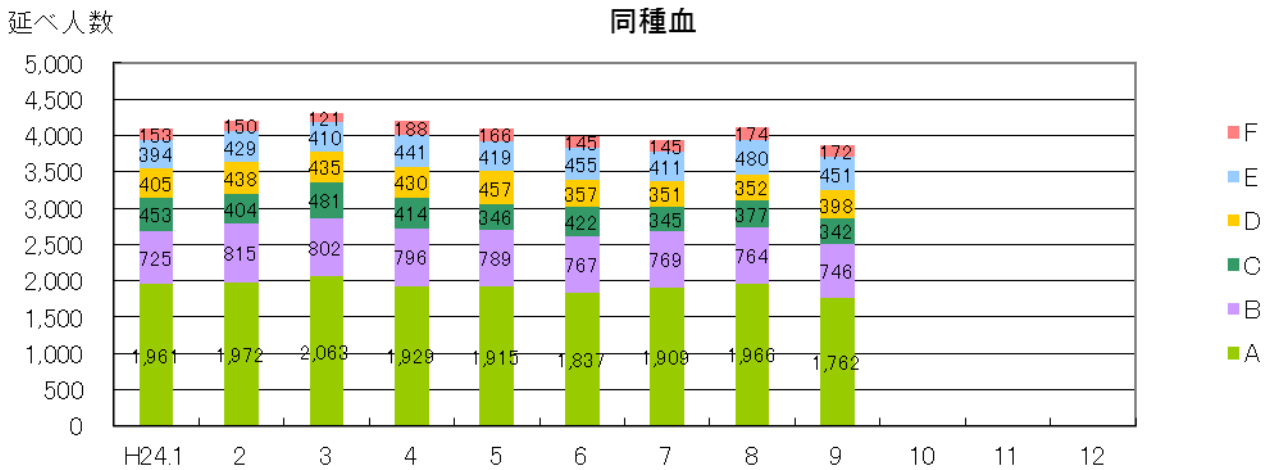
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

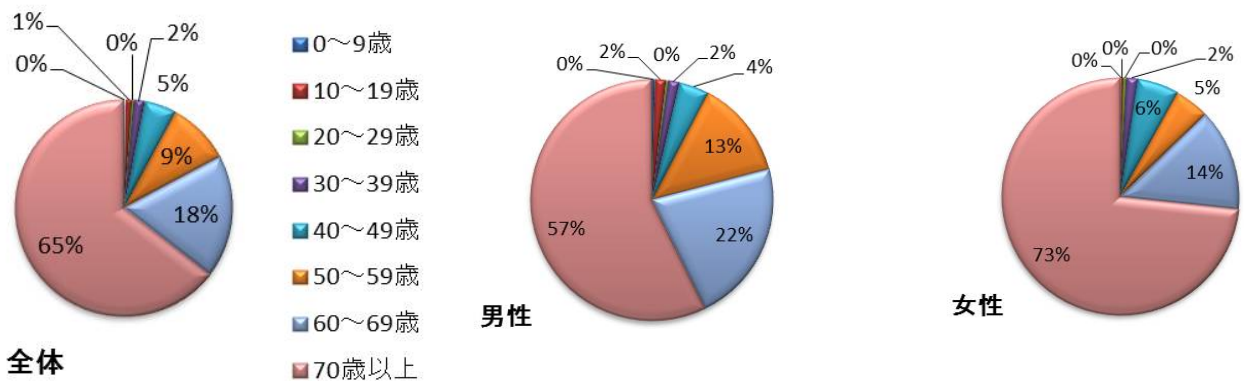
9月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,762	746	342	398	451	172	3,871
1床あたり	0.50	0.35	0.15	0.16	0.13	0.10	0.25
自己血	77	16	7	32	27	0	159
アルブミン	389	283	270	131	192	60	1,325

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出施設分のみ）

9月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	5	18	5	19	52	170	281	736	1,286
女	1	3	5	16	60	50	147	775	1,057
計	6	21	10	35	112	220	428	1,511	2,343



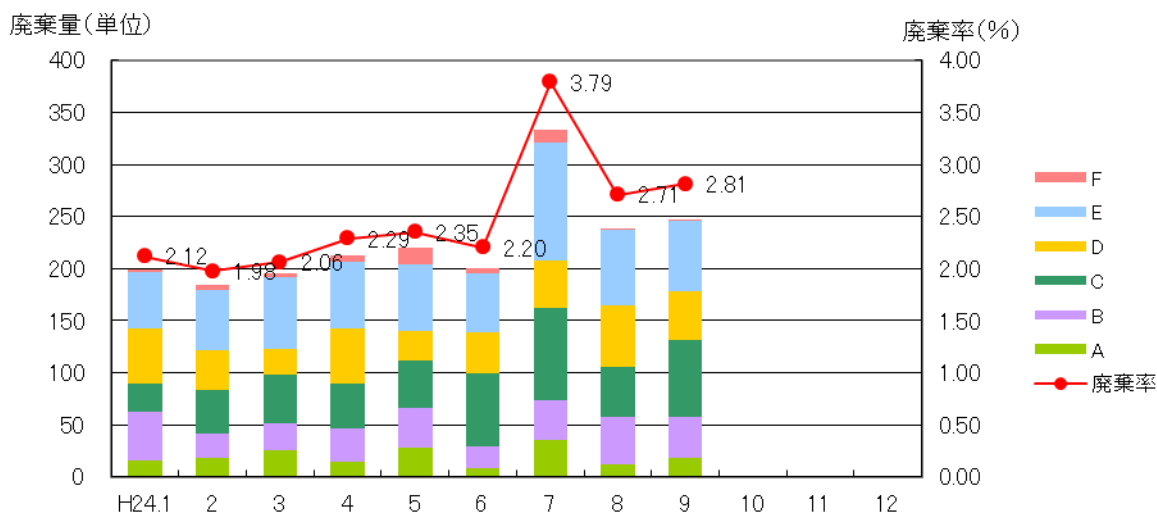


○血液製剤及び自己血の廃棄率

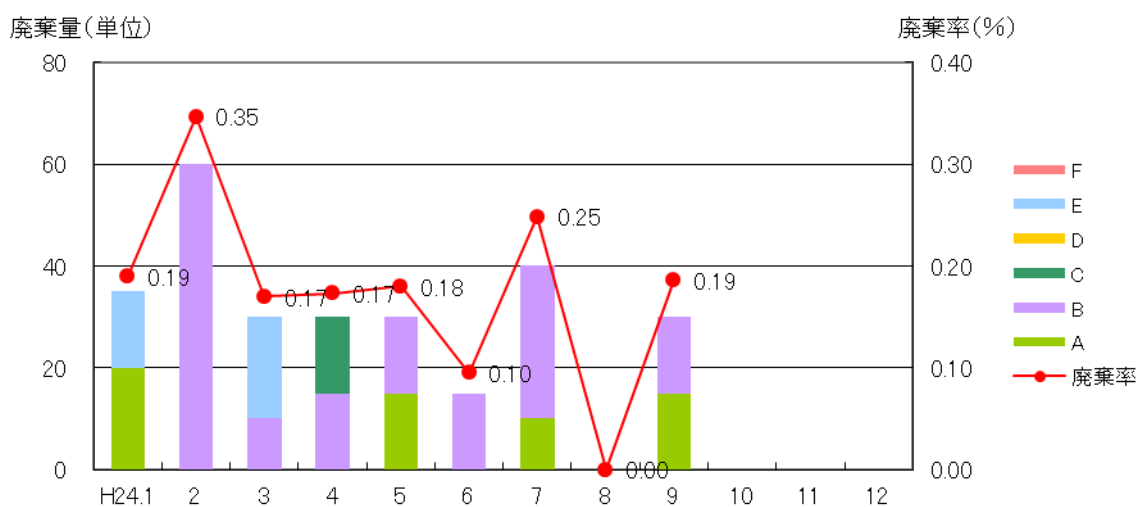
9月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	18	40	74	46	68	1	247
血小板製剤(単位)	15	15	0	0	0	0	30
血漿製剤(単位)	35.3	10.5	18.0	30.0	5.6	0.0	99.4
自己血(リットル)	5.6	1.3	0.4	0.0	2.8	0.8	10.9

※ 血漿製剤の単位換算は、FFP-LR-1 は 1.5、FFP-LR-2 は 3、FFP-LR-Ap は 5 を本数に乗じたもの。

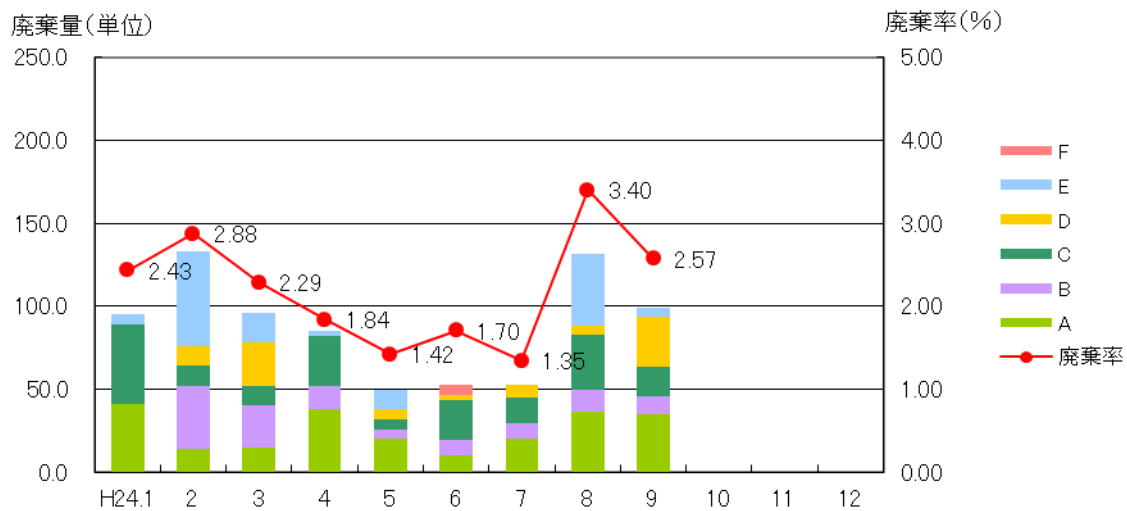
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



### 血漿製剤の廃棄量と廃棄率



### 自己血の廃棄量

